

## 1. 略歴

- 1991年 東京大学大学院人文科学研究科博士課程博士・博士（文学）  
1991年11月 東京大学文学部助手  
1993年4月 大阪外国語大学外国語学部助教授  
2002年3月 ケンブリッジ大学古典学部客員研究員、クレアホール客員フェロー（～2003年2月）  
2006年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授  
2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授  
2010年11月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

古代ギリシア史

### b 研究課題

古代ギリシア国制史研究、アテナイ民主政史研究、伝アリストテレス『アテナイ人の国制』研究、古代ギリシア歴史家断片研究

### c 概要と自己評価

研究・教育及びこれに関わる学内外の諸活動に従事し、責務を果たした。

### d 主要業績

#### (1) 著書

編著、橋場弦・桜井英治（共編）、『中学歴史 日本と世界』、山川出版社、2021.4

#### (2) 論文

橋場弦、「直接民主政＝衆愚政は方便 古代ギリシアが射抜く本質」、『月刊ジャーナリズム』、368、22-27頁、2021.1

橋場弦、「賄賂研究の射程」、『歴史評論』、861、6-19頁、2022.1

橋場弦、「シンポジウム：オリンピア—古典古代のからだところ 趣旨説明」、『西洋古典学研究』、69、81-84頁、2022.3

#### (3) 書評

栗原麻子、『互酬性と古代民主制——アテナイ民衆法廷における「友愛」と「敵意」——』、京都大学学術出版会、『史林』、104-2、57-63頁、2021.3

#### (4) 解説

橋場弦、「驚くことから歴史学は始まる」、村川堅太郎『オリンピア 遺跡・祭典・競技』、ちくま学芸文庫、233-242頁、2020.6

#### (5) 学会発表

国内、橋場弦、「オリンピア・古典古代のからだところ（趣旨説明）」、日本西洋古典学会第71回大会シンポジウム、オンライン開催、2021.6.5

#### (6) 啓蒙

橋場弦、「古代オリンピックの知られざるリアル」、『淡青』、40、11頁、2020.3

#### (7) マスコミ

「古代五輪、聖なる価値目指した」、『朝日新聞（朝刊）』、2020.4.5

「余録」、『毎日新聞（朝刊）』、2021.7.28

「天声人語」、『朝日新聞（朝刊）』、2021.12.21

## 3. 主な社会活動

### (1) 他機関での講義等

非常勤講師、御茶ノ水女子大学、「西洋社会史」、2020.4～2020.8、2021.4～2021.8

### (2) 学外組織

公益財団法人史学会、理事、2020.4～2022.6

日本西洋古典学会、常任委員、2020.4～